

令和4年度 夏期企画展

くだもの民具

—うめ・かき・みかんの農業遺産—

The old agricultural tools used for
fruits (Persimmon, Plum, Mandarin)
in wakayama



7月16日(土) ▶▶ 9月4日(日)

■入館料 一般190円(150円)／大学生90円(70円) ()内は20名以上の団体料金
※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国入留学生は無料(要証明書)

資料館入館時、イベント参加時は、ご協力おながいします



和歌山県立紀伊風土記の丘

〒640-8301 和歌山市岩橋 1411 TEL 073-471-6123 FAX 073-471-6120
HP/ www.kilfudoki.wakayama-c.ed.jp Email/ kofun@kilfudoki.wakayama-c.ed.jp



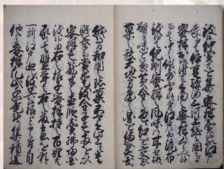
コロナウイルス感染拡大防止の状況により、展覧の中止及び変更等ある場合がございますので、ご了承ください。最新情報については当館へお問い合わせいただくか、またはホームページをご確認ください。

和歌山では、温暖な気候を利用して古くから果樹をさかん^{さかじゆ}に栽培し、その果実を商品作物として生産・加工してきました。

とくに、みかんや梅干しは、江戸時代から紀州の名産として全国に知られ、明治時代になると紀北地域を中心にかきの栽培がさかんになり、それぞれ栽培技術の近代化と交通網の発達によって日本各地に出荷されるようになりました。

なかでも、和歌山の特産物として今日も知られるうめ・かき・みかんは、全国屈指の生産量とシェアを誇り、生産技術の改良が重ねられ、地域を挙げた商品くだもの^{さいばい}の振興が図られています。

今回の企画展では、江戸時代から近現代にかけて栽培・生産された和歌山になじみ深いくだものにまつわる民具と生産技術を紹介して、県内におけるくだもの栽培の歴史や変遷、日本を代表する農業遺産にも選ばれる農業システムの特色について解説します。



関連行事

展示講座②

8月14日^日
13:30～15:30

対象：小学生以上
定員：30名（先着順）
参加方法：7/29^金 13:00～電話予約
参加費：入館料＋資料代

おもな展示物

- 表 左 四郷の串柿づくりと柿の皮剥き機(かつらぎ町)
- 表 中 梅干しづくり(上富田町)
- 表 右 下津の蔵出しみかん(海南市)と選果機(有田市)
- 裏上左 紀州蜜柑伝来記(和歌山県立図書館蔵)
- 裏上右 南海包譜(和歌山県立図書館蔵)
- 裏下左 南高梅誕生之地(みなべ町)
- 裏下右 有田みかん畑の石垣(有田市)